

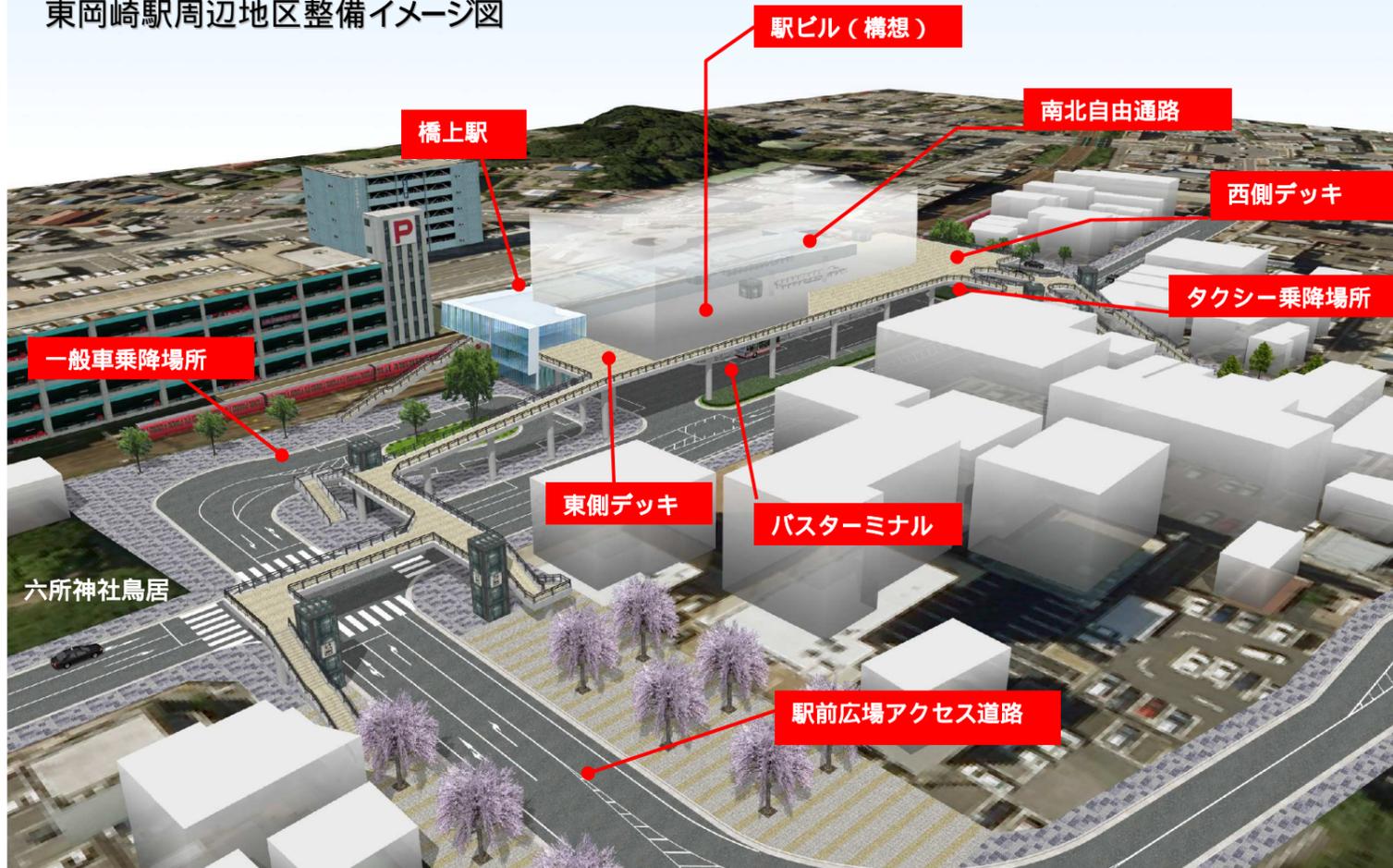
～ 乙川の水面に栄える東岡崎駅～
だれもが使いやすい、にぎわいの交流拠点

東岡崎駅交通結節点整備基本計画の概要



岡 崎 市

東岡崎駅周辺地区整備イメージ図



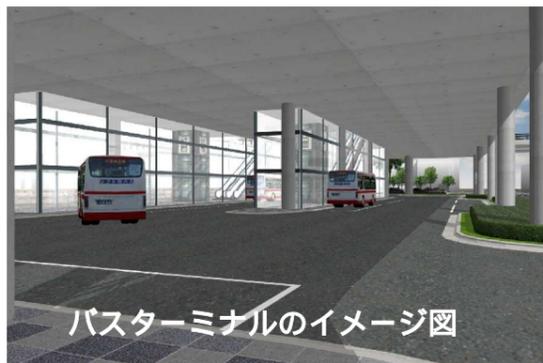
東岡崎駅周辺地区整備について

1日約38,000人、年間約1,400万人が利用する名鉄東岡崎駅。岡崎市では、平成19年3月に策定した整備基本方針をもとに、東岡崎駅交通結節点整備検討会を4回開催し、交通ネットワーク、駅前広場、自由通路、橋上駅、駅ビルの配置などの基本計画をまとめました。

今後は、この計画をもとに名鉄東岡崎北口駅前広場の利便性・機能性の向上と周辺道路などの混雑緩和のための具体的な検討を進めるとともに、南口駅前広場との機能分担や岡崎の玄関口にふさわしい景観形成を始め周辺のまちづくりにも配慮していきます。

整備内容

- 北口駅前広場の再整備
- 南北自由通路の新設
- 駅舎の橋上化
- 駅前広場アクセス道路の整備
- 公共機能整備
- 東岡崎専用駐車場周辺の街区整備

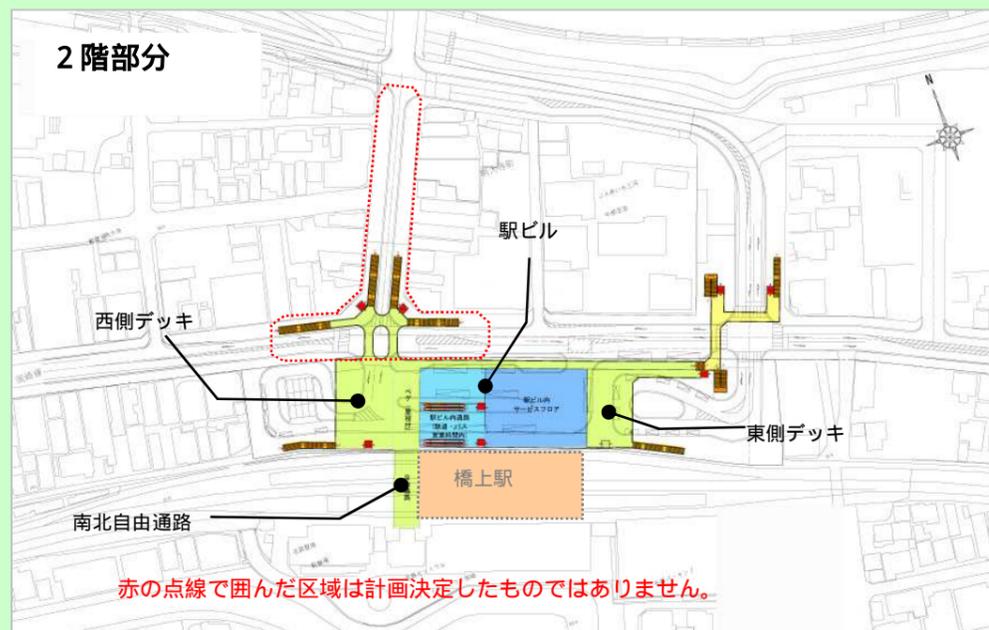


バスターミナルのイメージ図



タクシー乗降場所のイメージ図

東岡崎駅交通結節点整備基本計画図



整備計画の目的

アクセス道路の整備による駅前道路の混雑緩和

駅北側を東西に横切る都市計画道路岡崎一色線は、一日約 12,000 台の自動車交通量があります。この整備では、乙川左岸堤防道路を対面通行化することにより、駅前広場を利用する車両を誘導し駅前を東西に通過する交通と分離させ、岡崎一色線に集中する自動車交通量を緩和させます。

北口駅前広場の混雑緩和

現在の駅前広場は面積が狭いうえに、一般車とタクシーが混在し、また出口付近ではバスも 1 カ所の交差点に合流することから混雑しています。今回の計画では駅前広場用地を東側へ広げることにより、一般車と公共交通を明確に分離し、安全で使い勝手の良い駅前広場を整備します。

歩行者動線の確保

この基本計画では、自動車交通を地上面で全て処理するため、歩行者はその上の 2 階ペDESTリアンデッキを経由して自由通路、橋上駅などへアクセスができるようになります。このように自動車と歩行者の動線を分離することで、歩行者の安全を確保します。また、整備にあたってはバリアフリー化にも配慮します。

駅前広場から明代橋方面への歩行者動線については、地域の方々や公安委員会、道路管理者など関係者と協議していきます。

公共機能整備

駅前広場整備と合わせて、観光案内や駅に適した市民サービス機能の配置を検討していきます。

東岡崎専用駐車場周辺の街区整備

東岡崎駅北口駅前広場整備とともに東岡崎専用駐車場周辺街区において、賑わいある暮らしやすいまちづくり整備を検討していきます。

今後について

この基本計画は、今後検討をしていく上で土台となるものです。市民、地域住民、関係機関の皆様のご意見等を伺いながら、より良いものにしていきたいと考えています。

担 当：岡崎市 都市整備部 東岡崎・藤川地区整備課
〒444 - 860 1 岡崎市十王町 2丁目 9 番地
電話：0564 - 2 645 2 FAX: 0564 - 2 - 6535

(120.3)